

# 【実践事例（10）】

（気仙沼市立大谷小学校）

## 津波注意報・警報発表時の対応を地域の関係者と確認

### 学校の状況

- 東日本大震災では、津波が校舎1階まで浸水した。
- 学校のある大谷地区の沿岸地域では、津波の被害が大きかった。
- 学校は海岸から約500m、標高約16.7mの位置にある。

### 取組内容

- 令和4年5月に、県が公表した津波防災地域づくりに関する法律に基づく「津波浸水想定図」を受け、避難に関する内容や教職員の参集表、全家庭に配布する災害時の対応表などを改善した。

### 取組方法

- 1 有識者（大学准教授：学校防災アドバイザー）、大谷地区振興会連絡協議会長、大谷公民館長と学校とで協議
- 2 年度始めに、上記関係者に、学校の防災マニュアル渡し、内容の確認を依頼
- 3 上記の関係者が参集し、県が公表した津波防災地域づくりに関する法律に基づく「津波浸水想定図」を参考に、これまでの津波対応の避難訓練における課題を踏まえた避難に関する内容や教職員の参集表、全家庭に配布する災害時の対応表などについて協議し、改善した。


### 【改善した津波注意報・警報発表時の対応表】※家庭配布用

## 津波注意報・警報時における大谷小学校の対応について

### 令和4年度版

気仙沼市立大谷小学校  
〒988-0273 気仙沼市本吉町三島28  
TEL 0226(44)2202  
E-mail ohya-sho@kesennuma.ed.jp

御家庭においては、市の防災無線や広報車の指示にしたがって、避難や自宅待機等の迅速な対応をお願いします。

 このプリントは、見えるところに貼っておきましょう！

	児童が学校にいるとき	児童が家庭にいるとき
津波注意報	<p><b>【児童は第2次避難場所に避難】</b> （寺谷の高台、大谷幼稚園に避難） ○解除になるまで児童は帰しません。 ○状況を見て学校に戻る判断をします。引渡しが必要な場合、メール（または電話）でお知らせします。 ※津波到達予想時間が10分未満の場合や荒天により避難が難しい場合などは、校舎上階に垂直避難する場合があります。</p>	<p><b>【登校時刻になっても登校しない】</b> ○危険な時は安全な場所に避難してください。 ○いろいろな場面（特に大人がいない場合）を想定して、各家庭で日頃から避難場所等について、十分に話し合っておいてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><b>○登下校中の対応</b></p><ul style="list-style-type: none"><li>・揺れたら迷わず高台へ避難するなど、自分の身を守る行動を最優先してください。</li><li>・無理して自宅へ戻ったり、学校に向かったりしないでください。</li><li>・家族でもしもの時の避難場所を確認しておきましょう。</li></ul></div>
津波警報 大津波警報	<p><b>【児童は第2次避難場所に避難】</b> （寺谷の高台、大谷幼稚園に避難） ○解除になるまで、児童は帰しません。 ○避難場所で児童をそのまま待機させます。引渡しが必要な場合メール（または電話）でお知らせします。 ※津波到達予想時間が10分未満の場合や荒天により避難が難しい場合などは、校舎上階に垂直避難する場合があります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><b>○解除の場合</b></p><p>メール（または電話）により必要な事項について連絡します。各津波情報が解除されても、メールや電話連絡がない場合、登校日でも登校させないでください。（家庭の被災状況や、通学路の安全が確保できない等で、登校できない場合は、学校へ御連絡願います。）</p></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"><p><b>○臨時休業を行う場合</b></p><p>メール（または電話）でお知らせいたします。</p></div>

（参考）令和4年6月6日に実施した合同避難訓練では、地震発生から約18分間で、大谷小学校から寺谷の高台への避難が完了しました。  
※地震による揺れが大きく津波の到達が予想される場合は、津波注意報、警報の発表を待たず、寺谷の高台へ避難を開始します。

### 取組の成果

- ・学校職員では気付くことの難しい点について、地域や専門家の視点から助言をいただくことができた。